

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成31年1月15日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：関長官官房広報室長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○関広報室長 皆さん、こんにちは。広報室長の関でございます。

それでは、いつものとおり、広報日程について説明させていただきます。

お手元の資料の「1. 原子力規制委員会について」でございます。

明日1月16日、10時30分から、第53回原子力規制委員会が開催される予定でございます。議題は5つございます。

まず、議題1「平成31年の重点課題について（第2回）（個別審査を除く）」。こちらについては、先週に引き続き、平成31年の重点課題について議論を行う予定としております。

続きまして、議題2「浜岡原子力発電所5号機 非常用ディーゼル発電機（B）排気管伸縮継手破損による排気漏えいに伴う運転上の制限からの逸脱に係る中部電力からの報告に対する評価及び今後の対応について」でございます。

こちらは、昨年6月5日に発生したトラブルにつきまして、これまで規制庁の公開会合で議論を行ってまいりましたが、今回、その評価書案について、原子力規制庁から説明し、審議を行う予定としております。

議題3「関西電力株式会社美浜発電所3号炉、大飯発電所3号炉及び4号炉、四国電力株式会社伊方発電所3号炉、九州電力株式会社川内原子力発電所1号炉及び2号炉並びに玄海原子力発電所3号炉及び4号炉の発電用原子炉設置変更許可について（案）－規則等の改正を踏まえた設置変更許可申請－」でございます。

こちらにつきましては、規則等の改正を踏まえた設置変更許可につきまして、昨年12月5日の委員会で審査書案を取りまとめまして、原子力委員会及び経済産業大臣へ意見聴取を行ってまいりました。今回、これらの意見聴取について回答がありましたことから、許可について審議を行うものでございます。

議題4「日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の核燃料物質使用変更許可について」。こちらについては、プルトニウム第三開発室におけるプルトニウムを含みます核燃料物質の保管体化を行う案件でございます。こちらにつきましては、昨年6月27日の委員会におきまして議論を行い、その際、保管体は核燃料として使えないように

することや、本件申請については公開会合を行うことなどについての方針を定めまして、これまで審査会合等において議論を行ってまいりました。今回、審査書案を作成しましたことから、その審査結果及び使用許可処分について諮るものでございます。

議題5「津波警報が発表されない可能性のある津波への対応について（インドネシア・スンダ海峡で発生した火山現象による津波に関連して）」でございます。こちらにつきましては、昨年12月、インドネシアで津波が発生した件について、原子力規制庁においては、この津波に関する知見等について、現在、情報収集を行っているところでございます。これに関連いたしまして、地震以外の津波の取り扱いでありますとか、津波警報が発表されない可能性がある津波に関して、原子力規制庁のほうで整理・報告を行う予定としております。

以上が原子力規制委員会の内容でございます。

続きまして、2. 検討チーム会合についてでございます。

お手元の資料の2ページ目の（4）1月18日でございます。第671回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が行われます。大きく議題は3点。

議題1、中部電力・浜岡原子力発電所の地震動評価についてでございます。こちらについては、内陸地殻内地震の評価について、コメント回答が事業者側からあり、議論を行う予定としております。

議題2、志賀原子力発電所につきましては、敷地内断層の選定に関するコメント回答について、事業者側から説明があり、議論を行う予定としております。

議題3の島根原子力発電所につきましては、津波影響評価の年超過確率について、事業者側から報告があり、議論を行う予定としております。

続きまして、1月21日月曜日の（6）第67回特定原子力施設監視・評価検討会でございます。こちらについては、大きく議題は3つございます。

まず、議題1におきましては、3号機燃料取扱機について、事業者側から安全点検の結果及び今後の対応について報告があるとともに、その内容について議論を行う予定としております。

なお、本件については、東京電力からの説明ということになっております。

続きまして、議題2でございます。こちらについては、建屋滞留水の対策につきまして、進捗状況及び対策後の効果でありますとか、その後の課題、また、地下水の流れのシミュレーション結果等について議論が行われる予定でございます。

議題3につきましては、主にスラリー、スラッジでございます。こちらについては、プロセス主建屋等に保管されているものでございますが、これらについて移送を行う計画としておりますが、これらについての計画の進捗の状況でありますとか、その状況について報告・議論がある予定でございます。

また、議題4「その他」といたしまして、格納容器内調査の状況等について、説明がある予定でございます。

私からの説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

明日の議題2なのですけれども、これは審査会合でもちょいちょい聞いておりましたけれども、中部電力のほうから原因とか再発防止とか、大体そういうことが取りまとまったということで、報告があるということでしょうか。

○関広報室長 ヨシノさんから説明がありましたとおり、本件については、公開の審査会合において数回にわたり中部電力及び規制庁側で議論を行ってまいりました。その中で一定のまとめができたことから、今回、委員会のほうに諮り、原子力規制委員会等についての対応を議論する予定としております。

○記者 ありがとうございます。

あと、もう一点なのですけれども、1月21日の監視・評価検討会ですけれども、2月に東京電力が自前で2号機のデブリの調査とかをやるということなのですが、この辺についての説明とかは聞いたりされないのでしょうか。

○関広報室長 今おっしゃられていたところまで議論があるかどうかについては、私、承知しておりませんが、最後、その他のところで、最近における格納容器内調査の状況等について、軽く報告があるというふうに聞いております。

○司会 ほかに御質問のある方。アベさん、どうぞ。

○記者 共同通信のアベです。

明日の議題5についてお伺いしたいのですけれども、今の知見の整理、報告等とありましたけれども、もう少し具体的に何をという話なのでしょうか。

○関広報室長 本件につきましては、まだ昨年12月に起きた事象ということもございまして、細かい具体的なメカニズム等については、情報の収集を行っているというのが現状でございます。

他方、今まで地震として見ていたところから特徴的なところを考えますと、やはり地震以外の事象において津波が発生しているということ、また、本件については、いわゆる国際的に津波が来るというアラートみたいなものがなく津波が来ているということは、特徴的なことかと考えております。それらについて現状を整理いたしまして、まずは報告のほうをしたいというふうに考えております。

○司会 ほか、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—